

ベトナム・ロンアン省が再生可能エネルギー拠点へ加速

2025 年 4 月 14 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム・ロンアン省が再生可能エネルギー拠点へ加速

ベトナム・ロンアン省では、近年、送配電網の整備と再生可能エネルギー開発が急速に進展している。ベトナム政府の方針に基づき、ロンアン省の電力インフラは 22kV の中圧電線が省内の全ての地域に行き届いており、住民と企業の電力需要に対応できる体制が整いつつある。現在、500kV の高圧送電網は 105.5km、220kV は 80.31km、110kV は 433.16km、中圧線は 3,430km、低圧線は 2,586km に達している。

また、ベトナム国内における再生可能エネルギー促進の一環として、ロンアン省では 8 つの太陽光発電所が稼働中で、合計出力は 440.1MWp に達する。さらに 49MWp の「TTC Đức Huệ 2」太陽光発電所が建設中である。加えて、屋根上ソーラー導入も活発で、これまでに 2,582 件の設備が電力会社と接続済みで、合計出力は 510.8MWp に上る。

中でも注目されるのは、ベトナム・ロンアン省カンユック郡における「LNG 火力発電所ロンアン I・II」で、合計出力は 3,000MW に達する見込みであり、省のエネルギー供給における重要な役割を担う。このプロジェクトはすでに投資登録証を取得し、建設が進行中である。

これらのインフラ整備とエネルギー計画により、ロンアン省は投資先としての魅力を高めており、持続可能な開発と環境保護、グリーンエネルギーへの転換を進めるベトナム政府の政策とも一致している。

以上